

ロボカップジュニア沼津ノード大会暫定ローカルルール 説明用簡略版
(サッカー・ニッポンリーグ)

2024年10月12日
RCJJ 沼津ノード事務局

1. ロボットの規格 (大きさ・重さ等)

- ① 大きさ／直径22cm未満 高さ22cm以下 総重量1,100g以下
- ② ハンドル → **1年目のメンバーのロボットは、ついていなくても出場を認めます。**
 - ・審判がロボットを安定して持ち上げることができるもの。
 - ・高さ制限を上回っても構わないが、重さは含まれる。
 - ・22cmより上の部分にはセンサーなど部品を付けない。
 - ・ハンドル部分は、5cm以上他の部品より上にあること。
- ④ ボール補足エリア／3cm以内。
- ⑤ トップマーカー (審判がロボットを区別するために番号を書き込む直径4cm以上で白いプラスチック製の円板) を、ロボットの上部に水平に取り付ける。 → **今大会では適用しません。**

2. チーム

- ① チームは2名以上4名以下。
→ **今大会では、病気等で参加者が1名になってしまった場合でも試合に出場できます。**
- ② 1チームあたりの競技参加ロボットは2機まで。

3. 車検

- ① 全てのロボットは、規格に合っているか**車検**を受け、合格する必要がある。
- ② 車検に合格していないロボットは、試合に出場できない。
- ③ 車検後に規格にかかわるような改造をした場合は、再度車検を受ける。

4. 試合

(1) 試合開始前

- ① 開始時刻の2分前にまでにはコートにつく。
- ② 試合開始前に**車検シート**を審判に提出する
- ③ 試合開始前に**キャプテン**を決定する。
キャプテンは、試合中、ロボットのスタート (※)・配置・撤去・再配置などを行う。
- ④ 挨拶をし、コイントス (またはジャンケン) で、前半の**キックオフチーム**を決める。
前半のキックオフを選択しなかったチームが後半のキックオフを行う。
- ⑤ **ロボットを置く**
 - ア **まず** (キックオフをする) **攻撃側**が置き、次に**守備側**が置く。
 - イ ロボットは、中央より自陣側に置く。
 - ウ どのロボットもゴール内 (ゴールラインの内側) におくことはできない。
 - エ 攻撃側のロボットのうち1台はボールのすぐ近くに置き、守備側の2台のロボットはボールから30cm以上離れた位置 (センターサークルの外側) に置く。
 - オ 一度置いた (位置を決めた) ロボットは動かさない。

(2) 試合中

- ① 試合は前半・後半を各4分間とし、前半と後半の間に3分間の休憩を入れます。
- ② 試合中は、キャプテンだけがロボットに触れることができる。
- ⑥ 審判の合図で、キャプテンが2台のロボットのスイッチを入れ(※)、試合を開始する。
※ 今大会では、スタート時は各自で自分のロボットの操作ができることとします。

(3) 故障

- ① 故障したロボットは、コートから出して修理する。
修理は、各自のパドック(自分チームの机)で行う。コートおよびその付近では行わない。
- ② 故障かどうかの判断は審判が行うので、修理をする場合はキャプテンが審判に申し出る。
審判が故障と判断する例。(自分で判断せず、審判に「〇〇で故障です」と伝えましょう。)
 - ・ボールに反応しない。動かない。
 - ・部品が機体から飛び出したり、部品が外れるなどしてサイズをオーバーしたとき。
 - ・単独で転倒する。(他のロボットに転倒させられた場合は、審判が戻します。)
 - ・コートや相手のロボットを傷つけたとき。
 - ・なお、電池の消耗は故障と見なさない。(試合中は電池交換ができません。))
- ③ 故障からの復帰
故障のためフィールドから出たロボットが復帰できるのは、
 - ア 30秒間が過ぎ、故障が直っている。
 - イ キックオフかリスタートが行われる。
 - ウ なお、故障が直っていないロボットを復帰させることはできない。
 - エ ロボットを戻す時は、
 - ・キャプテンが審判の許可を得て、
 - ・ボールから最も離れた中立点に、自ゴールに正面を向けて置く。
 - オ 30秒間の計測は、各チームがタイマーで行う。

(4) ラック・オブ・プログレス (試合進行の停止)

- ① 次の時には、審判がボールを中立点に移動する。
 - ・ボールがロボットの間やロボットと壁の間に挟まって動かなくなった。
 - ・どのロボットもボールの位置を認識できない。
- ② 審判は「ラックオブプログレス (試合進行の停止)」を告げ、一番近くの空いている中立点にボールを移動させる。それでも解決しない場合には、別の中立点に移動させる。
- ③ 中央中立点に移動しても「試合進行の停止」が続く場合には、リスタート(※)とする。
※ コート上の全てのロボットをセンターサークルの外側に置いて、試合を再開する。

(5) 試合終了後

- ① 挨拶をする。
- ② キャプテンは記録用紙の得点を確認し、サインをする。サイン後の異議申し立てはできない。
- ③ 車検シートを忘れずに持ち帰る。

5. その他

- ① パドックの席を離れる際は、通行の邪魔にならないよう、椅子を机の下に入れる。
- ② 開会中、ロボットや試合について選手同士でアドバイスすることはかまわないが、家族などからアドバイスを受けることはできない。